

2025 年 4 月 16 日

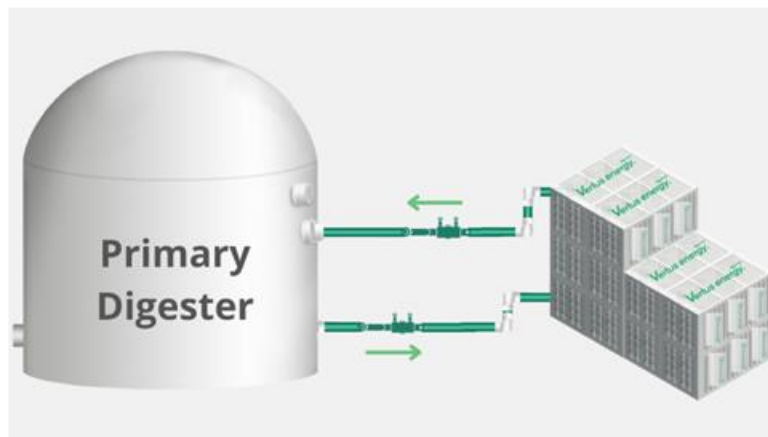
関係各位

千代田化工建設株式会社

**Vertus Energy とメタン発酵効率化技術の商業展開に向けた協業に関する覚書を締結**

千代田化工建設株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:太田 光治、以下「当社」)は、Vertus Energy(本社:オーストリア ウィーン、共同設立者兼最高執行責任者:Benjamin Howard、以下「ヴァータス社」)の保有するメタン発酵を効率化する技術の開発及び商業化を加速することを目的として、ヴァータス社と覚書を締結しましたのでお知らせします。

ヴァータス社は、Waste to X\*分野に先駆けて、既設の発酵タンクを生かしつつバクテリアの挙動を高度に管理することで既存の嫌気発酵技術(メタン発酵技術)と比して単位原料あたり最大 60%多くのエネルギーを、3 倍のスピードで生成する画期的な技術の開発を行っております。



既存発酵タンク(上図(左))へのヴァータス社技術(上図(右))の接続の様子

嫌気発酵技術は、廃棄物からバイオガスを生成する技術であり、バイオマス発電の燃料やバイオメタン製造の原料として利用されております。ヴァータス社が開発する技術は、バクテリアの挙動管理を行うことで嫌気発酵によるメタン生成量および生成速度を大幅に増加するものであり、幅広い地域の CO<sub>2</sub> 削減に貢献するものです。

本覚書を通じ、当社の培ってきたエンジニアリング力・プロジェクト遂行力と、ヴァータス社の革新的な Waste to X テクノロジーを組み合わせ、同技術の展開と早期の社会実装を目指してまいります。

当社は総合エンジニアリング会社として、カーボンニュートラルの実現に貢献する技術の社会実装に向けて多方面から事業に取り組んでいます。これらの事業を通じて、当社のパーパスである「社会の“かなえない”を共創(エンジニアリング)する」ことを目指して、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

ヴァータス社共同設立者兼最高執行責任者 Benjamin Howard 氏コメント

千代田化工建設との覚書を締結し、当社の BRIO 技術の商業化に向けた重要な一歩を踏み出せることを大変嬉しく思います。当社の Bio-Synthesis Platform の主力製品である BRIO 技術は、同量の廃棄物からのバイオメタン生産量を大幅に向上させ、嫌気性発酵産業を変革します。このパートナーシップを通じ、エ

エンジニアリングと大規模プロジェクトの実行における千代田化工建設の卓越した専門知識を活用できることを嬉しく思います。両社は共同で、持続可能な社会の構築にグローバルに貢献する革新的なエネルギーソリューションの展開を加速させます。この合意は、クリーンエネルギー技術を推進し、変革的なプロジェクトを大規模に提供する両社共通のコミットメントを強調するものであり、すべての人にエネルギー正義を提供するという当社の目的に向けた重要な一歩です。

Vertus Energy

- 設立: 2021 年
- 本社所在地: 10 Kohlmarkt, Vienna, Austria, 1010
- 事業概要: グリーンケミカルのグローバルな生産を目的とした嫌気性発酵分野の新技术の研究・開発・事業化活動を展開。

\*廃棄物を資源として利用し、エネルギーや燃料などの価値ある製品に変換する技術やソリューションのことを指します。

以 上

---

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報・サステナビリティ推進セクション 池尻、宮崎

Email: [chiyoda\\_pr@chiyodacorp.com](mailto:chiyoda_pr@chiyodacorp.com)

URL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>